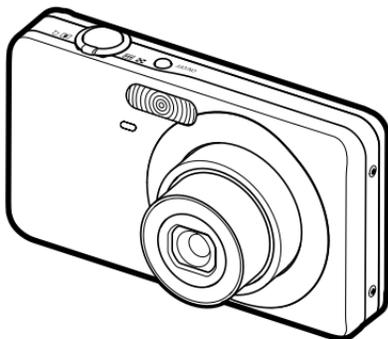


液晶デジタルカメラ

EX-Z20

取扱説明書(保証書付き)



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みにになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://dc.casio.jp/>) またはカシオホームページ (<http://casio.jp/>) でご覧になることができます。

K1134FCM1PKC

CASIO

EXILIM 【エクシリム】

J Z

すぐに使いたいかたは
ここをご覧ください

⇒ 9ページ

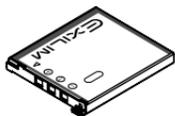
静止画を撮影する(応用)	25
動画を撮影する/ 音声を録音する	49
撮りたいシーンを選んで 撮影する(ベストショット)	54
よりよい撮影のための設定	60
静止画や動画を再生する	79
再生時のその他の機能 (再生機能)	84
プリント(印刷)する	100
パソコンを利用する	107
その他の設定について	131
液晶モニターの表示内容を 切り替える	141
付録	143

そろっていますか

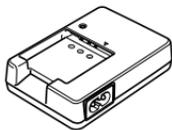
箱を開いたら、以下のものがすべてそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



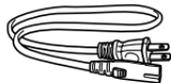
デジタルカメラ本体



リチウムイオン
充電池 (NP-60)



充電器 (BC-60L)

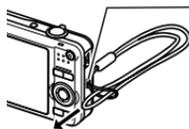


電源コード



ストラップ

取り付けかた



ストラップ
取り付け部



USBケーブル



AVケーブル



CD-ROM



取扱説明書 (本書)
(保証書つき)

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 万一、Photo Loader with HOT ALBUM、Photo Transport、YouTube Uploader for CASIO使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

目次

そろっていますか.....	2
あらかじめご承知ください.....	3

■ すぐに使いたいかたは ここをご覧ください 9

デジタルカメラではこんなことが できます.....	9
このカメラでできること.....	10
箱を開けたら、電池を充電する.....	11
■ 電池を充電する.....	11
■ 電池を入れる.....	12
最初に電源を入れたらメッセージの 言語を選び時計を合わせる.....	13
メモリーカードを準備する.....	15
■ 使用できるメモリーカード.....	15
■ メモリーカードを入れる.....	15
■ 新しいメモリーカードを フォーマット(初期化)する.....	16
静止画を撮影する.....	17
カメラの正しい構えかた.....	20
撮影した静止画を見る.....	21
撮影した画像を消去する.....	22
■ 1ファイルずつ消去する.....	22
■ すべてのファイルを消去する.....	22
静止画撮影時のご注意.....	23
■ オートフォーカスの制限事項.....	23
電源を入れる/切る.....	24

■ 静止画を撮影する (応用) 25

操作パネルを使う.....	25
---------------	----

画像サイズを変更する(画像サイズ) ..	26
フラッシュを使う...(フラッシュ) ..	29
シャッターチャンスに自動的に 撮影する.....(オートシャッター) ..	31
■ 手ブレや被写体ブレが止まった 瞬間を撮影する.....(ブレ検出) ..	31
■ 追いかけている被写体だけが ブレしていない瞬間を撮影する(流し撮り検出) ..	32
■ 笑顔になった瞬間を撮影する(スマイル検出) ..	32
■ シャッターの切れやすさを 設定する.....(感受さ) ..	33
人の顔をきれいに撮影する(顔認識) ..	35
■ 人の顔を検出して撮影する(通常認識モード) ..	35
■ 特定の人物の顔を最優先して 撮影する...(ファミリー優先モード) ..	36
何枚も連続して撮影する...(連写) ..	41
ISO感度を変える.....(ISO感度) ..	42
手軽に撮影する(easy(簡単撮影)モード) ..	43
操作パネル上の日付/時刻の 表示を変える.....	45
ズーム撮影する.....	46
■ 光学ズームとデジタルズームの 切り替えポイント.....	47

■ 動画を撮影する/ 音声を録音する 49

動画を撮影する.....	49
撮影開始前のシーンも動画に 記録する.....(パストムービー) ..	50

動画撮影中に静止画を撮影する
..... (スチルインムービー) .. 51

音声だけを録音する
..... (ボイスレコード) .. 52

■ 録音した音声を聞く 53

■ 撮りたいシーンを選んで撮影する (ベストショット) 54

ベストショットで撮影する..... 54

■ 自分好みの設定を登録する
..... (カスタム登録) ... 56

ホワイトボードなどを撮影する
..... (ビジネスショット) .. 58

カメラにまかせて自分の顔を
撮影する (自分撮り) .. 59

■ よりよい撮影のための設定 60

メニュー操作を覚える..... 60

撮影設定について (撮影設定) .. 62

■ ピントの合わせ方を変える
..... (フォーカス方式) ... 62

■ フォーカスフレームの形を
切り替える (フォーカス枠) ... 65

■ オートフォーカスの測定範囲を
変更する (AFエリア) ... 66

■ 何枚も連続して撮影する... (連写) ... 66

■ セルフタイマーを使う
..... (セルフタイマー) ... 67

■ シャッターチャンスに自動的に
撮影する (オートシャッター) ... 68

■ 人物の顔をきれいに撮影する
..... (顔認識) ... 68

■ 被写体ブレを軽減する. (ブレ軽減) ... 68

■ 手軽に撮影する (easyモード) ... 69

■ 左右キーに機能を割当てる
..... (左右キー設定) ... 69

■ 素早くシャッターを切りたい
ときは (クイックシャッター) ... 70

■ 撮影時、液晶モニターに基準線
表示する (グリッド表示) ... 70

■ デジタルズームを設定する
..... (デジタルズーム) ... 71

■ 撮影直後の画像を表示する
..... (撮影レビュー) ... 71

■ 画面上のアイコンの意味を
確認する (アイコンガイド) ... 71

■ 各種設定を記憶させる
..... (モードメモリ) ... 72

画質設定について (画質設定) .. 73

■ 画像サイズを設定する
..... (静止画サイズ) ... 73

■ 静止画の画質を設定する
..... (画質静止画) ... 73

■ 動画の画質を設定する. (画質動画) ... 73

■ 明るさを補正する (EVシフト) ... 74

■ 色合いを調整する
..... (ホワイトバランス) ... 75

■ ISO感度を変える (ISO感度) ... 76

■ 光の測りかたを変える. (測光方式) ... 76

■ 白飛びや黒つぶれを軽減する
..... (ダイナミックレンジ) ... 76

■ 人物の肌のざらつきを軽減する
..... (美肌処理) ... 77

■ 全体の色調を変える
..... (カラーフィルター) ... 77

■ 鮮鋭さを変える... (シャープネス) ... 77

■ 色の鮮やかさを変える (彩度) ... 77

- 明暗の差を変える。(コントラスト).... 78
- フラッシュの明るさを変える
.....(フラッシュ光量).... 78
- フラッシュの光量を補助する
.....(フラッシュアシスト).... 78

■ 静止画や動画を再生する **79**

- 撮影した静止画を見る..... 79
- 撮影した動画を見る..... 79
- 画像を拡大して表示する..... 80
- 画面に12枚の画像を表示する..... 81
- カレンダー形式で画像を表示する
.....(カレンダー表示).... 81
- テレビで静止画や動画を見る..... 82

■ 再生時のその他の機能(再生機能) **84**

- 自動的にページ送りして楽しむ
.....(スライドショー).... 84
- 好みのBGMをパソコンから
メモリーへコピーする..... 85
- 複数の写真を組み合わせた写真を作る
.....(レイアウトプリント).... 87
- 動画から静止画を作成する
.....(モーションプリント).... 88
- 動画をカットする(ムービーカット).... 88
- 黒つぶれを軽減する
.....(ダイナミックレンジ).... 90
- 画像の色味を変える
.....(ホワイトバランス).... 90
- 画像の明るさを変える(明るさ編集).... 91

- 黒板やポスターを正面から見た
ように補正する...(アングル補正) .. 92
- 古く色あせた写真を補正する
.....(退色補正) .. 92
- 印刷する画像を選ぶ(プリント設定) .. 93
- ファイルを消去できないように
する.....(プロテクト) .. 94
- 撮影画像の日時を修正する
.....(日時編集) .. 94
- 画像を回転させる.....(回転表示) .. 95
- 画像サイズを小さくする(リサイズ) .. 96
- 静止画の一部を切り抜く
.....(トリミング) .. 96
- 静止画に音声を付ける...(アフレコ) .. 97
- 録音した音声を聞くには..... 98
- ファイルをコピーする...(コピー) .. 99

■ プリント(印刷)する **100**

- 静止画のプリント方法..... 100
- カメラをPictBridge対応の
プリンターにつないでプリントする. 101
- プリントする画像や枚数を
指定しておく.....(DPOF) . 103

■ パソコンを利用する **107**

- パソコンを使ってできること..... 107
- Windowsパソコンを利用する.... 108
- 画像をパソコンに保存する/
パソコンで見る..... 110
- パソコンに自動的に画像を
保存する/画像を管理する..... 115
- 動画を再生する..... 117

■ YouTubeに動画を アップロードする	117
■ パソコンに保存した画像を カメラに戻す	119
■ ユーザー登録をする	122
Macintoshを利用する	123
■ 画像をパソコンに保存する/ パソコンで見る	123
■ パソコンに自動的に画像を 保存する/画像を管理する	126
■ 動画を再生する	126
■ ユーザー登録をする	127
ファイルとフォルダについて	128
メモリー内のデータについて	129

■ その他の設定について 131

撮影モードの画面のレイアウトを 選ぶ (操作パネル)	131
再生モードの画面のレイアウトを 選ぶ (表示)	132
カメラの音を設定する (操作音)	132
メニュー画面の表示色を変える (メニュー色)	133
撮影した静止画を起動画面に 表示させる (起動画面)	133
画像の連番のカウント方法を 切り替える (ファイルNo.)	134
海外旅行先での時刻を設定する (ワールドタイム)	134
日付や時刻を写し込む (タイムスタンプ)	135
カメラの日時を設定し直す (日時設定)	136

日付の表示の並びを変える (表示スタイル)	136
表示言語を切り替える(Language)	137
電池の消耗を抑える (スリープ)	137
電池の消耗を抑える (オートパワーオフ)	138
【  】、【  】の動作を設定する (REC/PLAY)	138
USBの通信方法を切り替える (USB)	139
画面の横縦比とビデオ出力の 方式を変更する (ビデオ出力)	139
メモリーをフォーマットする (フォーマット)	140
各種設定を購入直後の設定に 戻す (リセット)	140

■ 液晶モニターの表示 内容を切り替える 141

露出を確認する (ヒストグラム)	141
------------------	-----

■ 付録 143

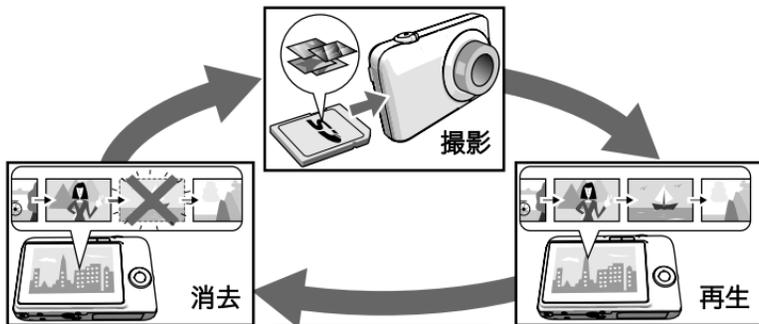
使用上のご注意	143
電源について	148
■ 充電について	148
■ 電池を交換する	148
■ 電池に関するご注意	149
■ 海外で使うときは	149
メモリーカードについて	150
■ メモリーカードを交換する	150
同梱ソフト使用時の動作環境に ついて	152

各部の名称	153
液晶モニターの表示内容	155
リセット操作でリセットされる 内容	159
故障かな？と思ったら	162
■現象と対処方法	162
■画面に表示されるメッセージ	167
撮影可能枚数と撮影可能時間	170
主な仕様／別売品	172
■別売品	175
索引	176
保証・アフターサービスについて	184
お客様ご相談窓口	186
修理サービスメニューについて	187
カシオテクノ・ サービスステーション	188
保証規定	189
カシオ保証書	190

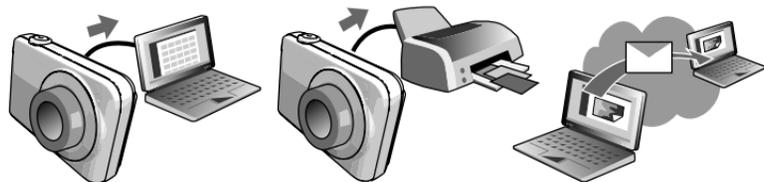
すぐに使いたいかたはここをご覧ください

デジタルカメラではこんなことができます

デジタルカメラではメモリーカードを使用して繰り返し撮影ができます。



撮影した写真は、さまざまな用途に活用できます。



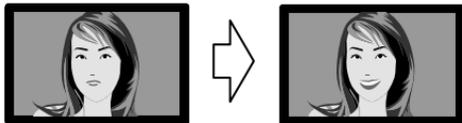
パソコンに保存できます

印刷できます

電子メールに写真が添付できます

このカメラでできること

このカメラには、撮影に便利なさまざまな機能が搭載されていますが、ここでは代表的な3つの機能を紹介します。



カメラがブレしていない瞬間、笑顔になった瞬間などシャッターチャンス判断して自動的に撮影します。

オートシャッター

詳しくはこちら **31** ページ



人物にカメラを向ければ、自動的に人物の顔だけを認識し、きれいに撮影します。

顔認識

詳しくはこちら **35** ページ



撮りたいシーンを選んでシャッターを押すことで、最適な設定で写真を簡単に撮影できます。

ベストショット

詳しくはこちら **54** ページ

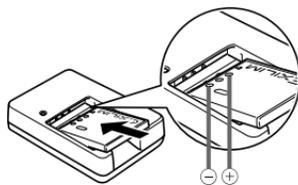
箱を開いたら、電池を充電する

お買い上げ直後は、電池はフル充電されていません。次の「電池を充電する」にしたがって充電してください。

- 本機は、当社の専用リチウムイオン充電電池 (NP-60) を電源として使用します (NP-60以外の電池は使用できません)。

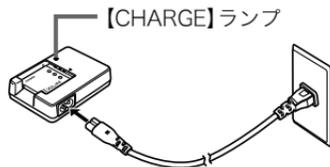
電池を充電する

1. 電池と充電器の極性 (⊕ ⊖) を合わせ、電池を充電器にセットする



2. 充電器を家庭用コンセントに接続する

約1時間30分でフル充電されます。充電が完了すると【CHARGE】ランプが消灯します。電源コードをコンセントから抜き、そのあと充電器から電池を取りはずしてください。



動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	充電器または電池の異常 (148ページ)
消灯	充電完了または充電待機中 (周辺温度が高い、または低い場合) (148ページ)

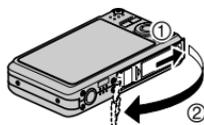
その他充電についてのご注意

- 充電電池(NP-60)は専用充電器(BC-60L)を使って充電してください。他の充電器では充電できません。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷えるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。

電池を入れる

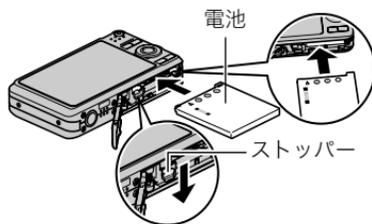
1. 電池カバーを開ける

電池カバーの根元にある矢印部分を押しなが
ら矢印の方向にスライドさせます。



2. 電池を入れる

電池のEXILIMのロゴのある面を下(レンズ
側)にして、電池の側面でストッパーを矢
印の方向にずらしながら電池を入れます。
ストッパーが電池にかかるまでしっかり
押し込んでください。



3. 電池カバーを閉める

本体に押しつけながら、スライドして閉めます。

- 電池の交換のしかたについては、148ページ
を参照してください。



電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

電池の残量	多い	←	→	少ない			
電池残量表示		→		→		→	
残量表示の色	水色	→	オレンジ色	→	赤色	→	赤色

“”は電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。

“”の状態では撮影できません。すぐに充電してください。

- 撮影モードと再生モードを切り替えた場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が入っていない、または消耗している状態でカメラを約2日放置すると、日時の設定がリセットされ、再度日付の設定が必要になります。
- 電池寿命と撮影可能枚数に関しては174ページをご覧ください。

電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しなくてよいときは、フラッシュの発光方法を“”（発光禁止）にしてください(29ページ)。
- オートパワーオフ機能やスリープ機能を使用することにより、電源の切り忘れなどのむだな消費電力をおさえることができます(137、138ページ)。

最初に電源を入れたらメッセージの言語を選び時計を合わせる

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは

画面に表示されるメッセージなどの言語および時計を設定する画面が表示されます。時計を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。

■ メッセージの言語を選び、日付と時刻を合わせる

- 日本で使う場合の操作例です。

1. 【ON/OFF】を押して電源を入れる

2. 【▲】【▼】を押して“日本語”を選び、【SET】を押しす

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】を押して日本のエリアを選び、【SET】を押しす

4. 【▲】【▼】を押して“Tokyo”を選び、【SET】を押しす

5. 【▲】【▼】を押して“切”を選び、【SET】を押しす
これで、サマータイムにはなりません。

6. 【▲】【▼】を押して日付の表示スタイルを選び、【SET】を押しす

例) 2009年12月19日

“年／月／日” → “09/12/19” と表示

“日／月／年” → “19/12/09” と表示

“月／日／年” → “12/19/09” と表示

7. 日付と時刻を合わせる

【◀】【▶】で年、月、日、時、分を選び、【▲】【▼】で数字を合わせます。

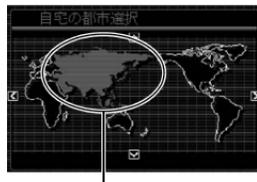
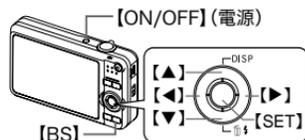
12時間／24時間表示を切り替えるには、【BS】を押しす。

8. 【SET】を押しす

- 表示言語や日時を間違っして設定した場合、設定し直すことができます(136、137ページ)。

参考

- 各国の時差やサマータイムは国の都合により変更する場合があります。



選んだエリアが赤く表示されます。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- 保存できる枚数については170ページをご覧ください。

使用できるメモリーカード

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- MMC(マルチメディアカード)
- MMC*plus* (マルチメディアカードプラス)

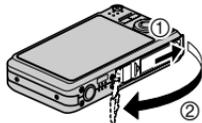


当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。詳しくは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://dc.casio.jp/>) をご覧いただくか、本書巻末記載の「カシオお客様相談室」(186ページ)にお問い合わせください。

メモリーカードを入れる

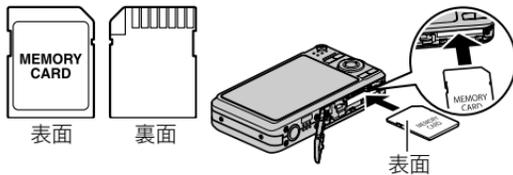
1. 【ON/OFF】を押して電源を切り、電池カバーを開ける

電池カバーの根元にある矢印部分を押しながら矢印の方向にスライドさせます。



2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの表面を上
(液晶モニター側)にして、
メモリーカード挿入口にカ
チッと音がするまで押し込
みます。



3. 電池カバーを閉める

本体に押しつけながら、スライドして閉めます。

- メモリーカードの交換のしかたについては、150ページを参照してください。



重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(15ページ)以外のは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、カシオテクノ修理相談窓口(186ページ)またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する

新しいメモリーカードを初めて使用するときは、カメラでフォーマットする必要があります。

1. 電源を入れて【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押す

重要

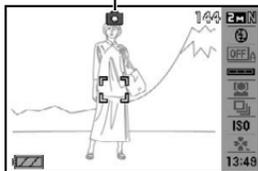
- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは普段行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードをフォーマットするときは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。

静止画を撮影する

1. 【】(撮影)を押して電源を入れる

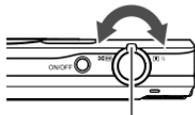
“” (オート) が表示されないときは、54ページを参照してください。

静止画モードアイコン



2. カメラを被写体に向ける

ズームの倍率を変更
できます。



ズームレバー



【】望遠

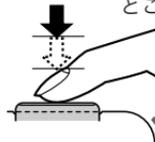


【】広角

3. シャッターを半押ししてピントを合わせる

ピントが合うと“ピピッ”と音がして、後面ランプとフォーカスフレームが緑になります。

半押し 軽く押して止まるところまで

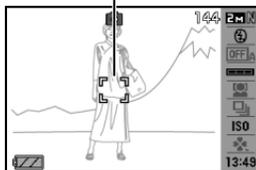


ピピッ(ピントが合います)

後面ランプ



フォーカスフレーム

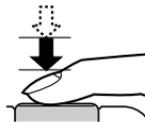


シャッターを半押しすると、カメラを向けている被写体に対して自動的に露出やピントを合わせます。どのくらいの力で押し込むと半押しになるかを覚えるのが、きれいな静止画を撮影するコツです。

4. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

静止画が撮影されます。

全押し 最後まで



カシャッ(撮影されます)

「動画を撮影するには」

【●】を押すと動画の撮影が開始します。もう一度【●】を押すと終了します。詳しくは49ページをご覧ください。

【●】ボタン



■ シャッターを半押しせずに一気に押し込んだときは

クイックシャッター(70ページ)が働き、シャッターチャンスを逃さず撮影できます。

- クイックシャッターが働くと、通常のオートフォーカスよりはるかに高速でピントを合わせるので、動きの速い被写体を撮影するときに便利です。ただし、正確にピントが合わない場合があります。
- 多少時間がかかってもしっかりピントを合わせたい場合は、シャッターを半押ししてピントを合わせたあと撮影してください。

■ ピントが合っていない場合

フォーカスフレームが赤のまま、後面ランプが緑に点滅しているときは、ピントが合っていない(被写体との距離が近すぎるときなど)。もう一度カメラを被写体に向け直して、ピントを合わせてみてください。

■ 被写体が中央にないとき

フォーカスフレームに入らない被写体にピントを合わせて撮影したいときは、フォーカスロック(64ページ)を使います。

カメラの正しい構えかた

シャッターを押すときにカメラがぶれると、きれいな画像が撮れません。正しく構えてください。下記の図のように持ち、脇をしっかり締めてください。シャッターを静かに押し、シャッターを押し切った瞬間とその直後はカメラが動かないようにしてください。特に暗い場所で撮影するときはシャッター速度が遅くなるので、注意してください。

横に持つとき



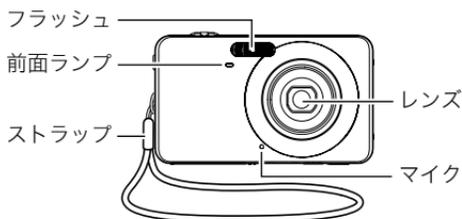
縦に持つとき



レンズよりフラッシュが上にくるように持ちます。

参考

- 指やストラップが図に示す部分をふさがないようにしてください。
- 誤ってカメラを落とすことのないように、必ずストラップを取り付け、ストラップに指や手首をかけて操作してください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途には使用しないでください。



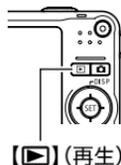
撮影した静止画を見る

撮影した静止画を液晶モニターで見ることができます。

- 動画の再生方法については79ページをご覧ください。

1. 【▶】(再生)を押して、再生モードにする

- 記録されている静止画の1つが液晶モニターに表示されます。
- 表示されている静止画についての情報も表示されます(158ページ)。
- 情報表示を消して、静止画だけを見ることもできます。
- ズームレバーを【▲】側にスライドさせると画像を拡大して表示します(80ページ)。大切な写真を撮影したときは、撮影した画像を拡大表示して画像の確認をしていただくことをおすすめします。



2. 【◀】【▶】で前後の静止画に切り替える

- 押し続けると、早送りができます。



撮影した画像を消去する

メモリーがいっぱいになっても、撮影した画像を消去することによりメモリーの残り容量を確保して、また新しい写真撮影ができるようになります。

- 消去したファイルは元に戻せません。
- 音声付きの静止画(97ページ)を消去すると、静止画といっしょに音声ファイルも消去されます。

1 ファイルずつ消去する

1. **[▶]**(再生)を押して再生モードにしたあと、**[▼]**( )を押す

2. **[◀]****[▶]**で消去したいファイルを表示させる

3. **[▲]****[▼]**で“消去”を選び、**[SET]**を押す
 - 続けて別のファイルを消去する場合は手順2～3を繰り返します。
 - 消去をやめるには、**[MENU]**を押してください。



すべてのファイルを消去する

1. **[▶]**(再生)を押して再生モードにしたあと、**[▼]**( )を押す

2. **[▲]****[▼]**で“全ファイル消去”を選び、**[SET]**を押す

3. **[▲]****[▼]**で“はい”を選び、**[SET]**を押す
すべてのファイルが消去され、“ファイルがありません”と表示されます。

静止画撮影時のご注意

操作について

- 後面ランプが緑に点滅しているときに電池カバーを開けないでください。撮影した画像が正しく保存されない、記録されている画像が壊れてしまう、カメラが正常に動作しなくなる、などの原因になります。
- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆って撮影してください。

撮影時の画面について

- 被写体の明るさにより、液晶モニターの表示の反応が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。
- 液晶モニターに表示される被写体の画像は、確認のための画像です。実際は、設定した画質(73ページ)で撮影されます。

蛍光灯の部屋での撮影について

- 蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

オートフォーカスの制限事項

- 次のような被写体に対しては、ピントが正確に合わないことがあります。
 - 階調のない壁など、コントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 明るく光っている被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 手ブレをしているとき
 - 動きの速い被写体
 - 撮影範囲外の被写体
- ピントが合わない場合は、フォーカスロック(64ページ)やマニュアルフォーカス(62ページ)で撮影してみてください。

電源を入れる／切る

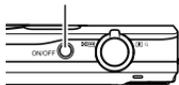
■ 電源を入れる

撮影モードにするには【ON/OFF】または【📷】(撮影)を押します。
再生モードにするには【▶】(再生)を押します。

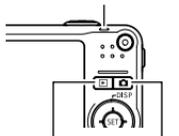
後面ランプが緑色に一時点灯し、電源が入ります。撮影モードの場合は、レンズが出てきます。

- レンズを押さえたりぶつかけたりしないようにしてください。レンズを手で押さえ込んでレンズの動きを妨げると、故障の原因になります。
- 撮影モードのときに【▶】(再生)を押すと再生モードに切り替わり、約10秒後にレンズが収納されます。
- スリープ機能、オートパワーオフ機能(137、138ページ)により、一定時間操作しないと、自動的に電源が切れます。

【ON/OFF】(電源)



後面ランプ



【▶】
(再生)

【📷】
(撮影)

■ 電源を切る

【ON/OFF】を押します。

- 【📷】(撮影)や【▶】(再生)を押しても電源が入らないようにすることができます。また、【📷】(撮影)や【▶】(再生)でも電源が切れるようにすることもできます(138ページ)。

静止画を撮影する(応用)

操作パネルを使う

本機では、操作パネルを使って、撮影に関する設定を変更することができます。

1. 撮影モードにして、【SET】を 押す

操作パネルのアイコン部分の
設定が可能になります。



2. 【▲】【▼】で設定したい項目を選ぶ

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① 画像サイズ/画質*(26、73ページ) | ⑥ 連写(41ページ) |
| ② フラッシュ(29ページ) | ⑦ ISO感度(42ページ) |
| ③ オートシャッター(31ページ) | ⑧ easy(簡単撮影)モード(43ページ) |
| ④ オートシャッターの敏感さ(33ページ) | ⑨ 日付/時刻の表示(45ページ) |
| ⑤ 顔認識(35ページ) | |

※操作パネル上では画質の切り替えはできません。

3. 【◀】【▶】で設定したい内容を選ぶ

4. 【SET】を押して決定する

選んだ内容に決定され、撮影モードの画面に戻ります。

- 続けて他の項目を選ぶときは、【SET】を押さずに【▲】【▼】で他の項目に切り替えます。

- 操作パネルを表示させないようにすることもできます(131ページ)。
- 上記以外に、撮影に関してさまざまな内容の設定を変更することができます(60ページ)。
- パストムービー、YouTube、ボイスレコード使用時は、操作パネルが表示されません。

画像サイズを変更する(画像サイズ)

■ 画素について

デジタルカメラの画像は、小さな点(画素・pixels)の集まりでできています。

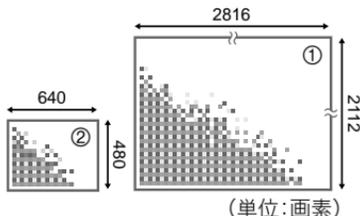
画素数は、数が多いほど精細な写真が撮れますが、サービスサイズ(L版)へのプリント、Eメールに添付して送る、パソコンの画面で見る、などの用途では画素数が少なくても良い場合があります。



■ 画像サイズについて

その画像がいくつの画素でできているかを示すもので、横×縦の画素数で表します。

- ① 画像サイズ2816×2112=約600万画素
- ② 画像サイズ640×480=約30万画素



サイズを決める目安

画像サイズが大きいほど画素数が多くなり、メモリーに保存できる枚数が少なくなります。



画素数が多い

→ 精細だがデータ量が多くなる

(A3用紙などに大きく印刷する場合などに適している)



画素数が少ない

→ 粗いがデータ量は少ない

(Eメールで画像を送る場合などに適している)

- 画像サイズ、画質と保存できる枚数 → 170ページ
- 動画の画像サイズについて → 73ページ
- 撮影済み静止画の画像サイズを小さくする(リサイズ) → 96ページ

■ 画像サイズを設定する

1. 撮影モードにして【SET】を押す

2. 【▲】【▼】で操作パネルの一番上の項目(画像サイズ)を選ぶ

3. 【◀】【▶】で画像サイズを選び、【SET】を押す

画素数(pixels)	プリント時の用紙サイズの目安や用途	特徴
8M(3264×2448)	A3プリント	精細な画像が得られ、トリミング(96ページ)しても画像が粗くなりにくい。
3:2(3264×2176)	A3プリント	
16:9(3264×1840)	HDTVサイズ	
6M(2816×2112)	A3プリント	精細な画像が得られます。
4M(2304×1728)	A4プリント	
2M(1600×1200)	L判プリント	画質より、撮影枚数を優先したいときに有効です。
VGA(640×480)	Eメール	データ量が少ないので、Eメールに添付するのに有効です。ただし、画像は粗くなります。

- お買い上げいただいたときは、8M(800万画素・pixels)で撮影するように設定されています。
- 3:2(3264×2176 pixels)を選ぶと、プリント用紙の一般的な横縦の比率(3:2)に合うように、画像を3:2の比率で撮影します。
- HDTVとはHigh Definition TeleVision(高精細テレビ)の略です。HDTVの画面の横縦比は16:9で、従来のテレビの画面(4:3)より横長(ワイド画面)になります。本機はこのHDTVの画面(ワイド画面)の横縦比に合わせて撮影することができます。
- プリント用紙のサイズは、あくまでも参考のサイズとお考えください(印刷解像度が200dpiの場合)。

フラッシュを使う(フラッシュ)

1. 撮影モードで【▼】(🔋⚡)を1回押す

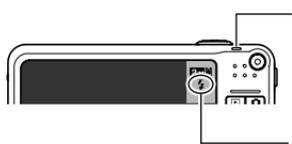
2. 【◀】【▶】で発光方法を選び、【SET】を押す

“操作パネル切”(131ページ)のときは、【▼】(🔋⚡)を押していくことで発光方法を選ぶことができます。



📷 フラッシュオート	露出(光の量や明るさ)に応じて自動的に発光します。
🚫 発光禁止	常に発光しません。
🔋⚡ 強制発光	常に発光します。日中、逆光で被写体が暗く写るときに設定すると、明るく撮影できます(日中シンク口撮影)。
📷 ソフト発光	露出に関係なく光量を抑えて発光します。
👁️ 赤目軽減	自動的に発光します。人の目が赤く写る現象を軽減できます。

3. シャッターを押して撮影する



後面ランプ

フラッシュ充電中はオレンジ色に点滅します。

- 充電が完了してオレンジ色の点滅が消えるまでは、次のフラッシュ撮影はできません。

フラッシュ発光時は“🔋⚡”を表示

- フラッシュが指やストラップで隠れないようにしてください。
- 被写体までの距離が遠かったり近かったりすると、適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電時間は、使用条件(電池の状態や周囲の温度など)により異なります。フル充電の電池では、数秒～5秒程度かかります。
- 暗い場所でフラッシュを発光禁止にして撮影すると、シャッター速度が遅くなり、手ブレの原因になります。この場合、カメラを三脚などで固定してください。
- 赤目軽減機能では、フラッシュは露出に合わせて自動的に発光します。明るい場所では発光しません。
- 外光や蛍光灯など他の光源があると、色味が変わることがあります。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では指示に従い、フラッシュを“発光禁止”に設定してください。
- フラッシュが届く範囲 (ISO感度: オート時)
広角時: 約0.1m～約2.6m
望遠時: 約0.6m～約1.4m
* 光学ズームに合わせて変化。

赤目軽減について

夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュ光が目網膜に反射するために起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮影する前に赤目用プリ発光(写される人の瞳孔を小さくするためにフラッシュが発光)をすることにより、人の目が赤く写ることを軽減します。

赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意してください。

- 写される人がフラッシュを注視していないと効果がありません。
- 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合があります。

便利な機能

- フラッシュの強さを変える→78ページ
- フラッシュの光量不足を補う→78ページ

シャッターチャンスに自動的に撮影する(オートシャッター)

カメラがシャッターチャンスの瞬間を判断して自動的に撮影します。

 A プレ検出	手ブレや被写体ブレが最も収まったことを判断して、自動的に撮影します。
 A 流し撮り検出	流し撮りをしているとき、追いかけている被写体がブレていないことを判断して、自動的に撮影します。
 A スマイル検出	人物の顔が笑顔になったことを判断して、自動的に撮影します。

1. 撮影モードにして【SET】を押す

2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から3番目の項目(オートシャッター)を選ぶ

3. 【◀】【▶】でオートシャッターの種類を選び、【SET】を押す

手ブレや被写体ブレが止まった瞬間を撮影する(ブレ検出)

1. 被写体にカメラを向けてシャッターを半押しし、露出やピントを合わせる

2. シャッターを全押しする

撮影待機状態となり、手ブレや被写体ブレを検出します。カメラがブレていない瞬間を検出すると、自動的に撮影します。

- 手ブレや被写体ブレを検出中は、“●Auto”が点滅します。



インジケーター：
撮影チャンスが近づくと、色が赤から緑へと変化します。

追いかけている被写体だけがブレしていない瞬間を撮影する (流し撮り検出)

1. 追いかけている被写体が通ると予測される場所にカメラを向けてシャッターを半押しし、露出やピントを合わせる
2. シャッターを全押しする

撮影待機状態となります。カメラを被写体の動きに合わせて動かし、追いかけてください。追いかけている被写体だけがブレしていない瞬間を検出すると、自動的に撮影します。

- 流し撮り検出中は、“●Auto”が点滅します。



インジケーター：
撮影チャンスが近づくと、色が赤から緑へと変化します。

笑顔になった瞬間を撮影する(スマイル検出)

1. 被写体にカメラを向けてシャッターを半押しし、露出やピントを合わせる
2. シャッターを全押しする

撮影待機状態となり、被写体の笑顔を検出します。被写体が笑顔になった瞬間を検出すると、自動的に撮影します。

- スマイル検出中は、“●Auto”が点滅します。



インジケーター：
撮影チャンスが近づくと、色が赤から緑へと変化します。

シャッターの切れやすさを設定する(感度)

1. 撮影モードにして【SET】を押す
2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から4番目の項目(オートシャッターの感度)を選ぶ
3. 【◀】【▶】で感度を設定し、【SET】を押す
 - 感度は“” (低)～“” (高)の3段階の間で設定できます。
 - “” (高)に設定すると、自動的に撮影しやすくなります。“” (低)に設定すると、なかなか自動的に撮影しませんが、よりブレの少ない写真が撮影できます。必要に応じて「感度」を変更してお試しください。

■ 連写モードと組み合わせてオートシャッター撮影する

連写モード(41ページ)と組み合わせると、下記のようなオートシャッター撮影になります。

- 通常連写モードの場合は、シャッターチャンスを検出して撮影した後も再び撮影待機状態となり、シャッターチャンスが訪れるたびに撮影を繰り返します。途中で通常連写を中止するときは【SET】を押してください。
- 高速連写モードの場合は、シャッターチャンスを検出すると、一気に10枚を連続撮影します。
- フラッシュ連写モードの場合は、シャッターチャンスを検出すると、フラッシュを発光しながら、一気に3枚を連続撮影します。

よりよいオートシャッター撮影のために

- プレ軽減(68ページ)を併用しながらオートシャッター撮影すると、より画像がブレにくくなります。
- プレ検出/スマイル検出で撮影中は、撮影が終了するまで、できる限りカメラを動かさないようにしてください。

重要

- 撮影待機状態が続き、なかなか自動的に撮影されない場合は、再度シャッターを押し込むことで、強制的に撮影することもできます。
- プレ検出/流し撮り検出で撮影しても、極端にシャッター速度が遅くなるような暗い場所や被写体が素速く動いているときは、十分な効果が得られずにブレしてしまう場合があります。
- スマイル検出では、笑顔の個人差により、なかなか自動的に撮影されない場合があります。その場合は「敏感さ」を変更してお試しください。
- 撮影待機状態のとき、オートパワーオフ機能(138ページ)は5分に固定されます。また、スリープ機能(137ページ)は作動しません。
- プレ/流し撮り/スマイル検出中(“●Auto”点滅中)にオートシャッター撮影を解除するには【SET】を押してください。
- 下記の撮影では、オートシャッター撮影はできません。
 - ベストショット撮影の一部(“ホワイトボードなどを写します”、“パストムービー”、“YouTube”、“ボイスレコード”)
- オートシャッター撮影では、下記の機能が使用できません。
 - トリプルセルフタイマー
 - AFエリアの追尾

人の顔をきれいに撮影する(顔認識)

人物を撮影するときに、人物の顔にピントと明るさを合わせて撮影します。顔認識には、次の2つのモードがあります。

 通常認識モード	画像の中から人物の顔を検出します。
 ファミリー優先モード	あらかじめ「ファミリー登録」で登録されている特定の人物の顔を最優先して撮影します。

人の顔を検出して撮影する(通常認識モード)

1. 撮影モードにして【SET】を押す
2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から5番目の項目(顔認識)を選ぶ
3. 【◀】【▶】で“ 顔認識:通常認識”を選び、【SET】を押す
4. 人物にカメラを向ける
人物の顔を検出すると、顔にフレームが表示されます。
5. シャッターを半押しする
ピントと明るさが合った顔に、緑色のフレームが表示されます。
6. シャッターを全押しして撮影する
 - AFエリアを“ 追尾”に設定すると、シャッターを半押ししたとき、顔の動きに合わせてフレームが追尾します(66ページ)。



特定の人物の顔を最優先して撮影する(ファミリー優先モード)

■ 家族などの顔データを登録する(ファミリー登録)

撮影時に優先させたい顔データを登録しておきます(最大6人、合計12枚まで)。

1. 撮影モードにして【SET】を押す
2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から5番目の項目(顔認識)を選ぶ
3. 【◀】【▶】で“ファミリー登録”を選び、【SET】を押す
4. 登録したい人物が正面に向いた状態で、画面のフレームに合うようにして、シャッターを押す
5. 「認識に成功しました」と表示されたら、【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押す



参考

- 登録した人物の顔データは、内蔵メモリー内の「FAMILY」フォルダに保存されます(129ページ)。

■ 登録した顔データの優先順位を設定する(ファミリー編集)

登録した顔データに名前と撮影時の優先順位を設定します。

1. 撮影モードにして【SET】を押す
2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から5番目の項目(顔認識)を選ぶ

3. 【◀】【▶】で“ファミリー編集”を選び、【SET】を押す

顔データの編集画面が表示されます。

顔データの編集画面



4. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定したい顔データを選び、【SET】を押す

5. 【◀】【▶】で名前を選び、【▼】を押す

6. 【◀】【▶】で撮影時の優先順位を選び、【SET】を押す

- “●●●” (無効=認識されない) ~ “●●★” (低) ~ “★★★★” (高) の4段階の間で設定できます。

7. 設定が終了したら、【MENU】を2回押す

参考

- 登録した顔データを消去したいときは、操作3の操作後、【MENU】を押して、「1人ずつ」「全データまとめて」消去することができます (22ページ)。
- 内蔵メモリーをフォーマット (140ページ) すると、登録した顔データは消えてしまいます。

■ ファミリー登録した人物に顔データを追加登録する

すでに登録した人物について、顔データを追加で登録することができます。1人の人物に対してさまざまな環境で3枚、4枚と追加登録していくことにより、人物の認識率を向上させることができます。

1. 撮影モードにして【SET】を押す

-
2. **【▲】【▼】**で操作パネルの上から5番目の項目(顔認識)を選ぶ

 3. **【◀】【▶】**で“ファミリー編集”を選び、**【SET】**を押す

 4. **【▲】【▼】【◀】【▶】**で追加登録したい人物の顔データを選び、**【MENU】**を押す

 5. **【▲】【▼】**で“追加登録”を選び、**【SET】**を押す

 6. 「家族などの顔データを登録する(ファミリー登録)」(36ページ)の手順4、手順5の操作を行い、人物の顔データを追加登録する

参考

- 人物の顔データは最大6人分まで、最大12枚まで登録できます。

■ ファミリー登録した人物の顔を優先して撮影する

1. 撮影モードにして**【SET】**を押す

2. **【▲】【▼】**で操作パネルの上から5番目の項目(顔認識)を選ぶ

3. **【◀】【▶】**で“顔認識:ファミリー優先”を選び、**【SET】**を押す

4. 人物にカメラを向ける
登録した人物の顔を検出すると、顔にフレームが表示されます。
 - フレームの色は、撮影時の優先順位に合わせて“白”(低)→“黄”→“水色”(高)と色分け表示されます。“水色”のフレームの人物が撮影時に最優先の人物となります。

5. シャッターを半押しする

一番優先順位の高い顔(フレームが水色の顔)にピントと明るさを合わせます。ピントと明るさが合うと、緑色のフォーカスフレームに変わります。

6. シャッターを全押しして撮影する

参考

- ファミリー優先モードでは、AFエリアは必ず「追尾」になります(66ページ)。

検出する速度と人数のどちらかを優先させる

1. 撮影モードにして【SET】を押す

2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から5番目の項目(顔認識)を選ぶ

3. 【◀】【▶】で“優先設定”を選び、【SET】を押す

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す

スピード優先	顔を検出するまでにかかる時間を短くします。ただし、一度に検出できる顔は最大5人までです。
人数優先	一度に検出できる顔を最大5人から最大10人に増やします。 “スピード優先”より、距離が遠くて小さい顔が検出できます(通常認識モード時)。

よりよい顔認識撮影のために

- ファミリー優先モードでは、通常認識モードよりも顔の検出速度がやや遅くなります。また、通常認識モードと比べて、距離が遠くて小さい顔の認識はできません。
- 顔が検出できない場合は、中央にピントを合わせます。
- フォーカス方式は必ずオートフォーカス(AF)となります。
- カメラを縦に持って撮影した場合、顔を検出するまでにやや時間がかかります。
- ファミリー登録されている人物であっても、表情などの状況や周囲の環境によっては正しく認識(最優先)されない場合があります。
- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加登録しておくことで、その人物の認識率を向上させることができます(37ページ)。
- 次のような場合、顔が検出できません。
 - 顔の一部が頭髮、サングラス、帽子などでさえぎられている人物、または顔に濃い影が落ちている人物
 - 顔が横を向いたり斜めに傾いていたりする人物
 - 距離が遠すぎて、顔が小さすぎる人物、または距離が近すぎて、顔が大きすぎる人物
 - 極端に暗い場所での人物
 - ペットなど人物以外の被写体

重要

- 下記の撮影では、顔認識撮影はできません。
 - ベストショット撮影の一部(“クロス”、“パステル”、“ホワイトボードなどを写します”、“パストムービー”、“YouTube”、“ボイスレコード”)
 - 動画撮影
- 顔認識撮影では、下記の機能が使用できません。
 - AFエリアのマルチAF

何枚も連続して撮影する(連写)

本機は3種類の連写(連続撮影)ができます。

 通常連写モード	メモリーの空き容量いっぱいまで連続撮影ができます。
 高速連写モード	通常連写より速い間隔で、メモリーの空き容量いっぱいまで連続撮影ができます。ただし、記録する画像サイズは、2M (1600×1200 pixels)に固定になります。
 フラッシュ連写モード	フラッシュを発光し、シャッターを押し続けている間、最大3枚まで連続撮影します。3枚撮影する前にシャッターから指を離すと、撮影を停止します。

※連写モードを解除するときは、“切”を選びます。

1. 撮影モードにして【SET】を押す

2. 【▲】【▼】で操作パネルの上から6番目の項目(連写)を選ぶ

3. 【◀】【▶】で連写の種類を選び、【SET】を押す

4. シャッターを押して撮影する
シャッターを押し続けている間、連続撮影します。シャッターから指を離すと、撮影を停止します。

- 連写では、露出／フォーカス位置は1枚目を撮影した際に固定されます。
- 下記の撮影では、連写はできません。
ベストショット撮影の一部(“ホワイトボードなどを写します”、“バストムービー”、“YouTube”、“ボイスレコード”)
- 連写の速度は、設定されている画像サイズや画質によって異なります。
- 通常連写、高速連写の速度は、使用するカードの種類やメモリーの空き容量によって異なります。内蔵メモリーを使用すると連写の速度は遅くなります。
- 高速連写では、フラッシュは自動的に“” (発光禁止)となります。
- フラッシュ連写では、フラッシュは自動的に“” (強制発光)となります。
- 通常連写／高速連写では、セルフタイマーは使用できません。
- 高速連写／フラッシュ連写は、通常の撮影と比較すると、解像感が多少落ちたり、ノイズが多少増えます。
- 高速連写／フラッシュ連写では、ISO感度は常に“オート”に設定されます。
- フラッシュ連写では、フラッシュ撮影範囲が狭くなります。

ISO感度を変える (ISO感度)

ISO感度とは、光に対する感度を表したものです。

1. 撮影モードにして【SET】を押す

2.   で操作パネルの上から7番目の項目 (ISO感度) を選ぶ

3. 【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押す

AUTO(オート)	撮影条件により自動調整します。		
ISO 64	感度が低い	シャッター速度が遅い	なめらかに撮れる (ノイズが減る)
ISO 100	↑ ↓	↑ ↓	↓ ↑
ISO 200			
ISO 400			
ISO 800			
ISO 1600			
	感度が高い	シャッター速度が速い (暗い場所での撮影向き)	多少ざらつく (ノイズが増える)

- 動画撮影ではISO感度をどこに設定しても、常に“AUTO”で撮影されます。

手軽に撮影する(easy(簡単撮影)モード)

easy(簡単撮影)モードに設定すると、難しい設定を心配せず、手軽に撮影することができます。初心者の方におすすめのモードです。

1. 撮影モードにして【SET】を押す

2. 【▲】【▼】で操作パネルの下から2番目の項目(easyモード)を選ぶ

3. 【◀】【▶】で“ON”を選び、【SET】を押す

easy(簡単撮影)モードに設定されます。

4. ピントを合わせる

フォーカスフレームを被写体に合わせ、シャッターを半押しします。

5. 撮影する

ピントが合った状態でシャッターを最後まで押し込みます。静止画が撮影されます。

■ easy(簡単撮影)モードのメニュー設定について

easy(簡単撮影)モードでは「フラッシュ」、「セルフタイマー」、「画像サイズ」、「easyモード」の4つのメニュー項目のみが設定できます。それ以外の撮影設定タブ(159ページ)/画質設定タブ(160ページ)のメニュー項目は撮影に最適な状態に固定され、通常の撮影モードで設定した状態は反映されません。

重要

- 設定タブ(160ページ)のメニュー項目を設定したい場合は、以下の操作3で「easyモード」をOFFに設定して、通常の撮影モードに切り替えてから行ってください。

1. 【MENU】を押す

easyメニュー画面は、通常のメニュー画面よりも大きな文字で表示されます。



2. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【SET】を押す

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す

メニュー項目	設定内容
フラッシュ	7A (フラッシュオート)* / 7 (強制発光) / 7 (発光禁止)
セルフタイマー	7 (10秒セルフタイマー) / OFF *
画像サイズ	8M * / 4M / UGA
easyモード	ON / OFF *
メニュー終了	easyメニュー画面から抜けます。

- 「*」この印のある項目は初期値です。
- 次のメニュー項目の設定内容は、下記のページを参照してください。
 - 「フラッシュ」→29ページ
 - 「セルフタイマー」→67ページ
 - 「画像サイズ」→26ページ
- メニュー項目「easyモード」の設定内容は、下記の通りです。
 - ON** : easyモードのまま、他のモードに切り替えません。
 - OFF** : easyモードから通常の撮影モードに切り替えます。
- 吹き出しで簡単な設定内容の説明が表示されます。

操作パネル上の日付／時刻の表示を変える

1. 撮影モードにして【SET】を押す

- ### 2. 【▲】【▼】で操作パネルの一番下の項目(日付／時刻の表示)を選ぶ 【◀】【▶】で日付または時刻の表示が選べます。

参考

- 日付は“表示スタイル”(136ページ)の設定により、「月/日」と「日/月」の2つから選ぶことができます。
- 時刻は、24時間制で表示されます。

ズーム撮影する

光学ズーム(レンズの焦点距離を変える方式)で3倍まで、デジタルズーム(画像中央をデジタル処理で拡大する方式)でさらに3~45.2倍(光学ズームとの併用)までのズーム撮影ができます。デジタルズームの倍率は画像サイズの設定によって異なります(48ページ)。

1. 撮影モードにして、ズームレバーをスライドさせる



望遠



広角

(望遠) : 被写体が大きくなり、写る範囲が狭くなります。

(広角) : 被写体が小さくなり、写る範囲が広がります。



ズームレバー

2. シャッターを押して撮影する

重要

- タイムスタンプ(135ページ)を設定して撮影すると、デジタルズームは動きません。

- デジタルズームの倍率は画像サイズ(26ページ)の設定によって異なります。画像サイズが小さいほど高倍率になります。

画像サイズ	最大倍率
8M	12倍
3:2	12倍
16:9	12倍
6M	13.7倍
4M	16.7倍
2M	24.0倍
VGA	45.2倍

- 一般的にデジタルズームを使用した画像は粗くなりますが、本機では、画像サイズが“6M”以下の場合、右の表の倍率までなら画質劣化が無く撮影することができます(HDズーム)。液晶モニターには、デジタルズームしても劣化しない倍率の境界が表示されており、その境界までは劣化せずにズームできます。劣化しない倍率は、画像サイズによって変化します。

画像サイズ	劣化しない倍率の境界
8M	3倍
3:2	3倍
16:9	3倍
6M	3.5倍
4M	4.2倍
2M	6.1倍
VGA	15.1倍